



ネットワークスキャンドライバ

ユーザーズガイド

改訂通知

2011

以下の段落は、かかる条件を付すことが法令に抵触する国では適用されません。LEXMARK INTERNATIONAL, INC. は、この文書を「現状のまま」いかなる保証もなしに提供します。特定の目的への適合またはその目的での商品価値の暗示的な保証はもとより、明示的と暗示的とによらずいかなる保証も致しません。管轄地域によっては、特定の取引に際して明示的および暗示的保証からの免責宣言が禁止されているため、この条文が適用されない可能性があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートを参照するには、次のアドレスにアクセスします。 support.lexmark.com.

消耗品とダウンロードに関する情報については、次のアドレスにアクセスしてください。 www.lexmark.com.

インターネットにアクセスできない場合は、Lexmark の次の住所まで郵送でお問い合わせください。

Lexmark International, Inc.
Bldg 004-2/CSC
740 New Circle Road NW
Lexington, KY 40550
USA

UNITED STATES GOVERNMENT RIGHTS

This software and any accompanying documentation provided under this agreement are commercial computer software and documentation developed exclusively at private expense.

商標

Lexmark およびダイヤモンドのデザインを組み合わせた Lexmark のロゴは、Lexmark International, Inc. の商標であり、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

その他の商標は各所有者に帰属します。

目次

改訂通知.....	2
ネットワークスキャンドライバの概要.....	5
ネットワークスキャンドライバのインストール.....	5
システム必要条件.....	5
サポート対象オペレーティングシステム.....	5
Fedora、Linpus Linux、SUSE Linux、Linux openSUSE、Red Hat Enterprise Linux、または Red Flag Linux へのインストール.....	5
Debian GNU/Linux または Ubuntu Linux へのインストール.....	6
ネットワークスキャンドライバがインストールされていることの確認.....	6
ネットワークプリンタを使用してスキャンする.....	6
ネットワークスキャンドライバの削除.....	6
スキャン.....	8
アプリケーションを使用してスキャンする.....	8
XSane を使用してスキャンする.....	8
OpenOffice.org を使用してスキャンする.....	8
GIMP を使用してスキャンする.....	9
ターミナルウィンドウを使用してスキャンする.....	9
複数のページをスキャンする.....	9
ページの両面をスキャンする.....	11
スキャンをキャンセルする.....	12
スキャン設定を調整する.....	13
XSane または OpenOffice.org を使用してスキャン設定を調整する.....	13
scanimage を使用してスキャン設定を調整する.....	14
標準スキャンオプションの設定.....	18
トラブルシューティング.....	19
プリンタがスキャンを実行してもコンピュータに画像が表示されない.....	19
プリンタがスキャンを停止する、または「Profile scan failed (プロファイルのスキャンできませ んでした)」ページが印刷される.....	19
ファイアウォールアプリケーションを無効にする.....	19
スキャンに必要なポートを開く (tcp: 9751-9760).....	19
デバイス証明書を受け入れる.....	20
有効なスキャンジョブ ログインを入力する.....	20
コンピュータで 1 ページしか表示されない.....	20
OpenOffice.org アプリケーションを使用する場合.....	20
XSane を使用する場合.....	20

scanadf を使用する場合	20
scanimage を使用する場合	20
プリンタに互換性がない	21
SANE でネットワーク スキャンドライバが認識されない	21
XSane 画面で文字化けが発生する	21
索引	22

ネットワークスキャンドライバの概要

ネットワークスキャンドライバが提供する SANE (Scanner Access Now Easy) インターフェイスにより、ネットワークに接続されたプリンタからスキャンすることができます。

ネットワークスキャンドライバのインストール

システム必要条件

ネットワークスキャンドライバをインストールする前に、以下を確認します。

- root ユーザー権限でログインしていること。
- インストールに必要な十分な空きディスク領域 (62MB) があること。
- お使いのサーバーに SANE または SANE バックエンドあるいは両方がインストールされていること。
- お使いのコンピュータが、サポートされているネットワークプリンタと TCP/IP 経由で通信できるように、正しく設定されていること。
- お使いのプリンタに内部ネットワークカードがあり、IPv4 ネットワーク経由で通信できること。外部ネットワークアダプタがサポートされていないこと。

サポート対象オペレーティングシステム

以下の Linux ディストリビューションのいずれかを実行していることを確認してください。

- Debian GNU/Linux
- Fedora
- Linpus Linux Desktop
- Linux Mint
- Linux openSUSE
- Linux SUSE Enterprise Desktop
- Red Flag Linux Desktop
- Red Hat Enterprise Linux WS
- Ubuntu Linux

メモ: サポートしているオペレーティングシステムの特定のバージョンについては、お使いのオペレーティングシステムのホームページを参照するか、インストール後に /usr/lexscan/docs/ にある supported-platforms.txt を参照してください。

Fedora、Linpus Linux、SUSE Linux、Linux openSUSE、Red Hat Enterprise Linux、または Red Flag Linux へのインストール

1 ドライバをダウンロードします。

- a www.lexmark.com へアクセスします。
- b [Drivers & Downloads] リストから [Driver Finder] を選択します。

- c お使いのコンピュータで実行中の Linux ディストリビューションを選択します。
- d **network-scan-linux-glibc2-x86.rpm** を選択し、お使いのコンピュータにダウンロードします。

2 以下のいずれかを実行します。

- 以下のパッケージファイルをダブルクリックします。
- ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
rpm -ivh network-scan-linux-glibc2-x86.rpm
```

Debian GNU/Linux または Ubuntu Linux へのインストール

1 ドライバをダウンロードします。

- a **www.lexmark.com** へアクセスします。
- b [Drivers & Downloads]ドロップダウンリストから[**Driver Finder**]を選択します。
- c お使いのコンピュータで実行中の Linux ディストリビューションを選択します。
- d **network-scan-linux-glibc2-x86.deb** を選択し、お使いのコンピュータにダウンロードします。

2 以下のいずれかを実行します。

- 以下のパッケージファイルをダブルクリックします。
- ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
dpkg -i network-scan-linux-glibc2-x86.deb
```

ネットワークスキャンドライバがインストールされていることの確認

インストールされているネットワークスキャンドライバが `dll.conf` ファイルに追加されており、デバイスファイルが存在していることを確認します。

現在使用可能なデバイスを表示するには、ターミナルウィンドウで「`scanimage -L`」と入力し、**Enter** キーを押します。

デバイスが検出されたことを示すメッセージがコンピュータに表示されます。

ネットワークプリンタを使用してスキャンする

- 1 XSane や scanadf などの SANE 準拠のアプリケーションを起動します。
- 2 ネットワークプリンタおよび目的の設定を選択します。
- 3 原稿を、自動原稿フィーダー(ADF)、または原稿台の上にセットします。
- 4 プリンタの操作パネルでプロファイルを選択します。
詳細はプリンタの『ユーザーズガイド』を参照してください。

ネットワークスキャンドライバの削除

- 1 オペレーティングシステムに応じて、次の手順に従います。

Fedora、Linpus Linux、SUSE Linux、Linux openSUSE、Red Hat Enterprise Linux、または Red Flag Linux の場合

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
rpm -e lexmark-network-scan
```

Debian GNU/Linux または Linspire Linux の場合

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
dpkg -r lexmark-network-scan
```

2 /etc/sane.d/dll.conf ファイルから lexmark_nscan の項目を削除します。

スキャン

プリンタの操作パネルからスキャンジョブを選択する方法の詳細については、プリンタの『ユーザーズガイド』を参照してください。

アプリケーションを使用してスキャンする

XSane を使用してスキャンする

- 1 ターミナルウィンドウで「xsane」と入力し、**Enter** キーを押します。
- 2 [Device Detection]ダイアログから以下の順序で移動します。
[Available devices] > お使いのプリンタを選択 > [OK]
- 3 メインダイアログで、[Window] > [Show standard options]の順にクリックします。
- 4 必要に応じて、以下のように他のスキャン設定を調整します。
- 5 メインダイアログで[Scan]をクリックします。
- 6 原稿を、自動原稿フィーダー(ADF)、または原稿台の上にセットします。
- 7 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

OpenOffice.org を使用してスキャンする

メモ: 使用できるのは、Writer、Impress、Draw だけです。

- 1 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
- 2 [Device Used]メニューから、お使いのプリンタのプリンタを選択し、[OK]をクリックします。
- 3 正しいプリンタが選択されているか確認するには、手順 1 を繰り返します。
- 4 オプションを選択し、[OK]をクリックします。
- 5 アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Request]の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Request]の順にクリックします。
- 6 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 7 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

GIMP を使用してスキャンする

GIMP (GNU Image Manipulation Program) は、UNIX/Linux システム用の標準ペイントプログラムです。GIMP は、既存のスキャンツール (xscanimage および XSane) をプラグインとして使用することにより、スキャンを実行します。GIMP のプラグイン機能により、xscanimage および XSane はスキャンしたイメージを GIMP に送り返すことができます。

メモ: お使いのオペレーティングシステムに付属の GIMP プラグインを事前にインストールしておく必要があります。

- 1 GIMP を起動します。
- 2 ツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [File] > [Acquire] > [XSane: Device dialog] の順にクリックします。
 - [File] > [Acquire] > [xscanimage: Device dialog] の順にクリックします。
- 3 [Device Detection] ダイアログから以下の順序で移動します。
[Available devices] > お使いのプリンタを選択 > [OK]
- 4 ダイアログで、必要に応じて他のスキャン設定を調整し、[Scan] をクリックします。
- 5 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 6 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

ターミナルウィンドウを使用してスキャンする

- 1 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。
`scanimage -d [device_name] > /tmp/scan.pnm`
- 2 必要に応じて、スキャン設定を調整します。
- 3 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 4 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

メモ: openSUSE 10.3 を使用して「Assertion 'c->xlib.lock' failed」エラーが発生した場合は、<http://en.opensuse.org/Xlib.lock> のトラブルシューティング情報を参照してください。

複数のページをスキャンする

スキャンの標準の給紙源は、自動原稿フィーダー (ADF) です。ADF に原稿がセットされていない場合、プリンタは原稿台からスキャンします。

複数ページのスキャン方法は、アプリケーションによりそれぞれ異なります。

scanimage を使用する

- 1 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。
`scanimage -b --source="Multiple Pages" -d [device_name]`
- 2 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 3 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

scanadf を使用する


- 1 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。
`scanadf --source="Multiple Pages" -d [device_name]`
- 2 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 3 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

OpenOffice.org を使用する


メモ: 使用できるのは、Writer、Impress、Draw だけです。

- 1 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - **[Insert]** > **[Picture]** > **[Scan]** > **[Select Source]** の順にクリックします。
 - **[Insert]** > **[Graphics]** > **[Scan]** > **[Select Source]** の順にクリックします。
- 2 **[Device Used]** メニューから、お使いのプリンタのプリンタを選択し、**[OK]** をクリックします。
- 3 正しいプリンタが選択されているか確認するには、手順 1 を繰り返します。
- 4 **[Options]** 領域で、**[Image Settings]** > **[source]** の順にクリックします。
- 5 **[Source]** メニューで、**[Multiple Pages]** を選択します。
- 6 **[OK]** をクリックします。
- 7 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - **[Insert]** > **[Picture]** > **[Scan]** > **[Request]** の順にクリックします。
 - **[Insert]** > **[Graphics]** > **[Scan]** > **[Request]** の順にクリックします。
- 8 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。
- 9 原稿のすべてのページがコンピュータに表示されるまで、手順 6 を繰り返します。

XSane を使用する

- 1 ターミナルウィンドウで「**xsane**」と入力し、**Enter** キーを押します。
- 2 **[Device Detection]** ダイアログから以下の順序で移動します。
[Available devices] > お使いのプリンタを選択 > **[OK]**
- 3  メニューで、**[Multiple Pages]** を選択します。
- 4 **[Scan]** をクリックします。
- 5 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 6 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

0.99 以降のバージョンの XSane の場合:

- 1  メニューで、**[Multiple Pages]** を選択します。
- 2 **[Scan]** をクリックします。
ADF にあるページ数よりも少ない数を指定した場合、指定したページ数だけがスキャンされます。
残りのページをスキャンするには、もう一度 **[Scan]** をクリックする必要があります。

- 3 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 4 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

0.99 より前のバージョンの XSane の場合:

- 1 ツールバーで、次の順に選択します。
[Preferences] > [Setup] > [Enhancement] タブを選択 > [Scan Multiple Page]
- 2 ダイアログで [Scan] をクリックします。
- 3 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 4 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。
- 5 原稿のすべてのページがコンピュータに表示されるまで、手順 2 を繰り返します。

ページの両面をスキャンする

メモ:

- プリンタに両面スキャナおよび自動原稿フィーダー (ADF) が付属していることを確認してください。
- 原稿が ADF にセットされていることを確認してください。
- 両面スキャナおよび ADF は、一部の機種でのみ使用可能です。

アプリケーションにより、両面スキャンにはいくつかの方法があります。

scanimage を使用する

- 1 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。
`scanimage -b --scan-both-sides=yes -d [device_name]`
- 2 ADF に原稿をセットします。
- 3 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

scanadf を使用する

- 1 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。
`scanadf --scan-both-sides=yes -d [device_name]`
- 2 ADF に原稿をセットします。
- 3 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。


OpenOffice.org を使用する

メモ: 使用できるのは、Writer、Impress、Draw だけです。

- 1 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Select Source] の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Select Source] の順にクリックします。
- 2 [Device Used] メニューから、お使いのプリンタのプリンタを選択し、[OK] をクリックします。

- 3 正しいプリンタが選択されているか確認するには、手順 1 を繰り返します。
- 4 [Options] 領域で、[Image Settings] > [source] の順にクリックします。
- 5 [Source] メニューで、[Multiple Pages] を選択します。
- 6 [Options] 領域で、[Image Settings] > [scan-both-sides] の順にクリックします。
- 7 [scan-both-sides] チェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。
- 8 アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Request] の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Request] の順にクリックします。
- 9 ADF に原稿をセットします。
- 10 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。
- 11 原稿のすべてのページがコンピュータに表示されるまで、手順 8 ~ 10 を繰り返します。

XSane を使用する

- 1 ターミナルウィンドウで「xsane」と入力し、Enter キーを押します。
- 2 [Device Detection] ダイアログから以下の順序で移動します。
[Available devices] > お使いのプリンタを選択 > [OK]
- 3  メニューで、[Multiple Pages] を選択します。
- 4 ツールバーで、[Window] > [Show standard options] の順にクリックします。
- 5 [Scan both sides] チェックボックスを選択します。
- 6 メインダイアログで[Scan]をクリックします。
- 7 ADF に原稿をセットします。
- 8 プリンタの操作パネルでスキャンジョブを選択します。

スキャンをキャンセルする

スキャンをキャンセルするには、以下のいずれかの手順を実行します。

- ネットワークプリンタにスキャンジョブを送信した後に表示されるダイアログで、[スキャンプロファイルをキャンセル] > [はい] の順にクリックします。
- アプリケーションを終了します。
- スキャンジョブをキャンセルします。
 - 1 プリンタの操作パネルでスキャンジョブをキャンセルします。
 - 2 ネットワークプリンタにスキャンジョブを送信した後に表示されるダイアログで、スキャンをキャンセルします。詳細はプリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

スキャン設定を調整する

XSane または OpenOffice.org を使用してスキャン設定を調整する

アプリケーションにより、以下のいずれかの手順に従ってスキャンオプションにアクセスします。





• XSane を使用する








- 1 ターミナルウィンドウで「xsane」と入力し、**Enter** キーを押します。
- 2 [Device Detection]ダイアログから以下の順序で移動します。
[Available devices] > お使いのプリンタを選択 > [OK]
- 3 メインダイアログで、以下のいずれかを実行します。
 - [Window] > [Show standard options]の順にクリックします。
 - [Window] > [Show advanced options]の順にクリックします。

• OpenOffice.org を使用する

メモ: 使用できるのは、Writer、Impress、Draw だけです。

- 1 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
- 2 [Device Used]メニューから、お使いのプリンタのプリンタを選択し、[OK]をクリックします。
- 3 正しいプリンタが選択されているか確認するには、手順 1 を繰り返します。
- 4 [Options]領域で、[Image Settings]または[Advanced Settings]を選択します。

項目	目的
[Content Type]または[content-type]	原稿の種類を選択します。
 または [scan-resolution]	スキャン解像度を選択します。 すべてのプリンタの解像度がオプションとして表示されます。選択した解像度がプリンタでサポートされていることを確認してください。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
 または [mode]	カラーモードを選択します。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
[Original Size]または[original-size]	原稿のサイズを選択します。 すべてのプリンタの原稿サイズがオプションとして表示されます。選択したサイズがプリンタでサポートされていることを確認してください。
[Scan both sides]または[scan-both-sides]	両面スキャンを実行します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">• プリンタに両面スキャナおよび自動原稿フィーダー (ADF) が付属していることを確認してください。• 原稿が ADF にセットされていることを確認してください。• 両面スキャナおよび ADF は、一部の機種でのみ使用可能です。
[orientation]または[Orientation]	縦向き (ポートレート) か横向き (ランドスケープ) かを選択します。

項目	目的
 または [brightness]	明るさの設定を選択します。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
 または [contrast]	コントラストの設定を選択します。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
 または [source]	1 枚または複数ページの原稿をスキャンします。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
 または [Invert pixel values]	ピクセル値を反転させます。 メモ:  アイコンは、XSane のメインダイアログにあります。
[Background Removal]	カラー原稿をスキャンするときに、汚れを除去し、背景のシェーディングを薄くします。 メモ: [Background Removal] があるのは、XSane だけです。
[Color Dropout]	取り込まないカラーを選択します。 メモ: [Color Dropout] があるのは、XSane だけです。
[Color Dropout Threshold]	カラードロップアウトの質を選択します。 メモ: [Color Dropout Threshold] があるのは、XSane だけです。
[Mirror Image]	ドキュメントの画像を左右反転します。 メモ: [Mirror Image] があるのは、XSane だけです。

メモ: すべてのオプションをサポートしていないプリンタもあります。詳細はプリンタの『ユーザーズガイド』を参照してください。

scanimage を使用してスキャン設定を調整する

購入したプリンタの機能によっては、これらの値の一部が使用できない場合があります。

scanimage はコマンドラインのみのアプリケーションで、最初に検出したスキャナおよび標準のスキャン設定を使用します。コマンドによりスキャンが実行され、TIFF または PXM 形式でイメージが保存されます。コマンドラインオプションを使用することにより、スキャン設定の指定が可能です。

たとえば、原稿サイズがリーガルの場合、スキャンを開始するには、コマンドラインで「scanimage original-size=Legal > /tmp/image.pxm」と入力し、Enter を押します。

目的	入力	値
プリンタを指定します。	-d [device_name]	[device_name]
原稿の種類を選択します。	content-type	Text Text/Graphics Photo

目的	入力	値
<p>スキャン解像度を選択します。</p> <p>メモ: すべてのプリンタの解像度がオプションとして表示されます。</p>	<p>scan-resolution</p>	<p>75</p> <p>100</p> <p>150</p> <p>200</p> <p>300</p> <p>400</p> <p>600</p> <p>1200</p> <p>メモ: 選択した解像度がプリンタでサポートされていることを確認してください。</p>
<p>カラーモードを選択します。</p>	<p>mode</p>	<p>1-bit Black & White</p> <p>8-bit Grayscale</p> <p>24-bit Color</p>

目的	入力	値
<p>原稿のサイズを指定します。 メモ: すべてのプリンタの原稿サイズがオプションとして表示されます。</p>	<p>original-size</p>	<p>Letter Executive Legal A3 A4 A5 A6 B4 B5 Tabloid Oficio (Mexico) Folio Statement Universal Custom Scan Size ID Card 3x5 Photo 4x6 Photo Business Card Book Original Auto Size Mixed Size 3x5 in 3.5x5 in 4x6 in 4x8 in 5x7 in 8x10 in 9x13 cm 10x15 cm 10x20 cm 130 x 180 mm 20x25 cm L 2L Hagaki</p> <p>メモ: 選択したサイズがプリンタでサポートされていることを確認してください。</p>

目的	入力	値
スキャンする原稿を指定します。	document-source	Black and White Laser Color Laser Inkjet Plain Inkjet Glossy Retail Photo Photo Magazine Newspaper Press メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 選択したサイズがプリンタでサポートされていることを確認してください。 • オプションがサポートされていない場合、プリンタでは標準の値が使用されます。
両面スキャンを実行します。	scan-both-sides	no yes メモ: <ul style="list-style-type: none"> • プリンタに両面スキャナおよび自動原稿フィーダー(ADF)が付属していることを確認してください。 • 原稿が ADF にセットされていることを確認してください。 • 両面スキャナおよび ADF は、一部の機種でのみ使用可能です。
縦向き(ポートレート)か横向き(ランドスケープ)かを選択します。	orientation	portrait landscape
明るさの設定を選択します。	brightness	1-9
コントラストの設定を選択します。	contrast	0-5
1枚または複数ページの原稿をスキャンします。	source	Single Page Multiple Pages
ピクセル値を反転させます。	negative-image	no yes
カラー原稿をスキャンするときに、汚れを除去し、背景のシェーディングを薄くします。	background-removal	-4-+4
取り込まないカラーを指定します。	color-dropout	None Red Green Blue

目的	入力	値
カラードロップアウトの質を選択します。	<code>color-dropout-threshold</code>	0-254
ドキュメントの画像を左右反転します。	<code>mirror-image</code>	no yes

メモ:

- サポートされるオプションの一覧を表示するには、「`scanimage --help`」と入力します。
- プリンタによっては、サポートされていないオプションもあります。詳細はプリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

標準スキャンオプションの設定

すべての標準スキャンオプションは、スキャンドライバ設定ファイル `/etc/sane.d/lexmark_nscan.conf` に保存されます。スキャンドライバ設定ファイルの値を変更すると、標準設定が変更されます。設定はアプリケーションに反映されます。

XSane は、最後に使用したスキャン設定を `/${HOME}/.sane/xsane` ディレクトリに保存します。スキャンドライバ設定ファイルへの変更を XSane に反映させるには、以下の手順に従います。

- 1 アプリケーションで XSane を終了します。
- 2 ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
rm -f ${HOME}/.sane/xsane/*.drc
```
- 3 「`xsane`」と入力し、**Enter** キーを押します。

トラブルシューティング

プリンタがスキャンを実行してもコンピュータに画像が表示されない

お使いのコンピュータの IP アドレスと、ネットワークインターフェイスカードに割り当てられた IP アドレスが一致していることを確認します。

1 ターミナルウィンドウで「hostname」と入力し、**Enter** キーを押します。

2 以下のように入力し、**Enter** キーを押します。

```
ping [computer_hostname]
```

表示された IP アドレスをメモします。

3 以下のように入力し、**Enter** キーを押します。

```
/usr/lexscan/bin/lshost
```

表示された IP アドレスと手順 2 で入手した IP アドレスを比較します。

2 つの IP アドレスが一致しない場合は、次のいずれかを行います。

- /etc/hosts または DNS エントリを修正します。
- SANE ドライバの設定ファイルを更新し、使用する適切なネットワークインターフェイスを指定します。

/etc/hosts または DNS エントリを修正する方法の詳細については、オペレーティングシステムに付属の説明書類を参照してください。

問題が解決しない場合は、19 ページの「プリンタがスキャンを停止する、または『Profile scan failed (プロファイルをスキャンできませんでした)』ページが印刷される」を参照してください。

プリンタがスキャンを停止する、または「Profile scan failed (プロファイルをスキャンできませんでした)」ページが印刷される

ファイアウォールアプリケーションを無効にする

ファイアウォールアプリケーションを無効にする方法については、オペレーティングシステムに付属の説明書類を参照してください。

スキャンに必要なポートを開く (TCP: 9751-9760)

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
# iptables -I INPUT -p tcp --dport 9751:9760 -j ACCEPT -i eth0
```

ほとんどの Linux ディストリビューションでは、iptables コマンドを使用して特定のポートを開けます。

デバイス証明書を受け入れる

スキャンを完了する前にセキュリティ証明書の認証にエラーが発生した場合、処理を進めるには、証明書を受け入れる必要があります。

1 回のスキャンジョブのために証明書を受け入れることも、今後のすべてのスキャンジョブのために証明書を受け入れることもできます。

有効なスキャンジョブ ログインを入力する

プリンタへのスキャンジョブの送信時に「401 Unauthorized Error(401 認証エラー)」が表示されたら、有効なユーザー名とパスワードの組み合わせを入力する必要があります。

このユーザー名とパスワードの組み合わせは、1 回のスキャンジョブおよび今後すべてのスキャンジョブで有効です。

コンピュータで 1 ページしか表示されない


ソースが[Multiple Pages]に設定されていることを確認します。

OPENOFFICE.ORG アプリケーションを使用する場合

使用できるのは、Writer、Impress、Draw だけです。

- 1 OpenOffice.org アプリケーションのツールバーで、以下のいずれかを実行します。
 - [Insert] > [Picture] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
 - [Insert] > [Graphics] > [Scan] > [Select Source]の順にクリックします。
- 2 [Options]領域で、[Image Settings] > [source]の順にクリックします。
- 3 [Source]メニューで、[Multiple Pages]を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

XSANE を使用する場合

- 1 メニューで、[Multiple Pages]を選択します。
- 2 [Scan]をクリックします。

SCANADF を使用する場合

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
scanadf --source="Multiple Pages" -d [device_name]
```

SCANIMAGE を使用する場合

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
scanimage -b --source="Multiple Pages" -d [device_name]
```

プリンタに互換性がない

以下のことを確認してください。

- お使いのプリンタが多機能プリンタであること。
- プリンタが、ネットワークスキャンドライバでサポートされていること。

プリンタの互換性に関する詳細は、プリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

SANE でネットワーク スキャンドライバが認識されない

XSane や scanadf などの SANE 準拠のアプリケーションは、SANE 経由でプリンタにアクセスします。

以下のことを確認します。

- スキャンドライバが /usr/lib/sane ディレクトリにインストールされていること。
- スキャンドライバのデバイスファイルが存在していること。
- スキャンドライバが /etc/sane.d/dll.conf ファイルに記載されていること。
- 「lexmark_nscan」が /etc/sane.d/dll.conf ファイルに記載されており、その前に「#」が記載されていないこと。
- SANE が、ディレクトリ構造 /usr/lib/sane および /etc/sane.d/ を使用してインストールされていること。
- SANE をインストールするには、LD_LIBRARY_PATH を以下のように設定することが必要になる場合があります。

ターミナルウィンドウで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=/usr/lib
```

XSane 画面で文字化けが発生する

XSane バージョン 0.90 以降を実行してください。以前のバージョンより多くの言語がサポートされています。

メモ: Linpus Linux を実行している場合は、英語以外の言語でも正しく動作するように、XSane をバージョン 0.90 以降にアップグレードしてください。

索引

アルファベット

XSane 画面で文字化けが発生する 21

あ行

アンインストールする、ネットワーク
スキヤンドライバ 6
インストールする、Debian
GNU/Linux へ 6
インストールする、Fedora へ 5
インストールする、Linpus Linux
へ 5
インストールする、Linux
openSUSE へ 5
インストールする、Red Flag Linux
へ 5
インストールする、Red Hat
Enterprise Linux へ 5
インストールする、SUSE Linux
へ 5
インストールする、Ubuntu Linux
へ 6

か行

確認する、スキヤンドライバがインストールされていること 6
キャンセルする、スキヤン 12
コンピュータで 1 ページしか表示されない 20

さ行

サポート対象オペレーティングシステム 5
システム要件 5
スキヤンする
キャンセルする、スキヤン 12
使用する、GIMP 9
使用する、ネットワークプリンタ 6
使用する、OpenOffice.org 8
使用する、コマンドライン 9
使用する、XSane 8
複数ページ 9
ページの両面 11
スキヤンする、ページの両面
使用する、OpenOffice.org 11
使用する、scanadf 11
使用する、scanimage 11

使用する、XSane 11
スキヤンする、複数のページ
使用する、OpenOffice.org 9
使用する、scanadf 9
使用する、scanimage 9
使用する、XSane 9
スキヤン設定
OpenOffice.org Writer 13
XSane 13
設定する、標準設定値 18

た行

調整する、スキヤン設定
使用する、OpenOffice.org 13
使用する、scanimage 14
使用する、コマンドライン 14
使用する、XSane 13
通知 2

な行

ネットワークスキヤンドライバ
アプリケーションに認識されない 21
アンインストールする 6
インストールする、Debian
GNU/Linux へ 6
インストールする、Fedora へ 5
インストールする、Linpus Linux
へ 5
インストールする、Linux
openSUSE へ 5
インストールする、Red Flag Linux
へ 5
インストールする、Red Hat
Enterprise Linux へ 5
インストールする、SUSE Linux
へ 5
インストールする、Ubuntu Linux
へ 6
インストール要件 5

は行

プリンタがスキヤンしても画像が表示されない 19
プリンタがスキヤンを停止する 19
プリンタに互換性がない 21